

平成20年3月期 第3四半期のご報告にあたって

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平成20年3月期第3四半期連結決算（平成19年4月1日から同年12月31日までの9ヶ月通算、並びに平成19年10月1日から同年12月31日までの3ヶ月）の概要をこのウェブサイトを通じてご報告いたします。

当社グループの連結売上高は、9ヶ月通算で前年同期比503億円（6.8%）増収の7,949億円となりました。また、営業利益は前年同期比192億円（27.3%）増益の895億円となりました。国内外の主要市場でカラーMFP（デジタル複合機）の販売が好調に推移した情報機器事業と、TACフィルム（液晶偏光板用保護フィルム）や次世代DVD用光ピックアップレンズなど高付加価値製品の販売が大きく拡大したオプト事業が、当四半期の増収増益に大きく貢献しました。各事業の詳細につきましては、営業概況の中でご説明いたしておりますので是非ご高覧ください。

当社は、平成18年度から20年度までの3カ年の中期経営計画<FORWARD（フォワード）08>を策定し、グループ総力をあげて成長を図るとともに新たな事業付加価値の増大を目指し、情報機器事業及びオプト事業を中心に事業競争力の強化に取り組んでおります。米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な株安や景気減速の懸念、原油価格をはじめとする原材料価格の高騰、ドルやユーロに対する円高の進行、など当社グループを取り巻く経済環境や競争環境には一層の厳しさが予想されますが、当社は、昨年11月の中間決算発表時に上方修正しました平成19（2007）年度の目標の完遂に向かって、この<FORWARD 08>で策定した諸施策の着実な遂行に専心し、当社グループの企業価値及び株主価値の増大に努めてまいり所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年2月

コニカミノルタホールディングス株式会社

代表執行役社長 太田 義勝

連結財務ハイライト

(単位：百万円、未満切捨)

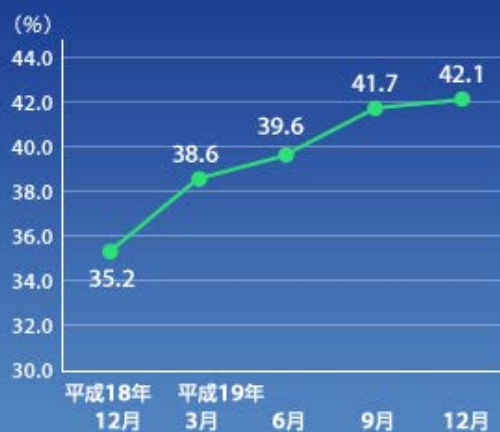
| | 平成20年3月期第3四半期 | 平成19年3月期第3四半期 | 増減 |
|--------|---------------|---------------|--------|
| 売上高 | 794,964 | 744,596 | 50,367 |
| 営業利益 | 89,577 | 70,345 | 19,231 |
| 経常利益 | 86,430 | 69,804 | 16,625 |
| 四半期純利益 | 55,712 | 40,123 | 15,589 |



(単位：百万円、未満切捨)

| | 平成20年3月期第3四半期 | 平成19年3月期 | 増減 |
|-----------|---------------|----------|--------|
| 総資産 | 985,172 | 951,052 | 34,120 |
| 純資産 | 416,280 | 368,624 | 47,656 |
| 自己資本比率(%) | 42.1 | 38.6 | 3.5 |
| 有利子負債 | 227,703 | 229,364 | △1,661 |

自己資本比率の推移



有利子負債残高の推移



(単位：百万円、未満切捨)

| | 平成20年3月期 第3四半期 | 平成19年3月期 第3四半期 | 増減 |
|------------------|-------------------|-------------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 73,893 | 43,555 | 30,337 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △55,481 | △38,195 | △17,286 |
| フリー・キャッシュ・フロー | 18,411 | 5,359 | 13,051 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △13,103 | △2,321 | △10,782 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 93,654 | 84,370 | 9,283 |

営業概況（平成19年4月1日～同年12月31日の9ヶ月）

全事業で増収、営業利益および経常利益は三期連続、四半期純利益は二期連続で最高益を更新

連結売上高

7,949 億円（前年同期比 +6.8%）

（事業終了したフォトイメージング事業の売上高減少分の影響を除いたベースでの比較 +13.0%）

全事業で前年同期に比べ増収となり、特に国内外の主要市場でカラーMFP（デジタル複合機）の販売が好調な情報機器事業やTACフィルム（液晶偏光板用保護フィルム）、次世代DVD用光ピックアップレンズなど成長製品をもつオプト事業がグループの売上拡大を牽引しました。

なお、フォトイメージング事業終了による売上減少の影響を除いたベースでの前年同期との比較では13.0%の増収となります。

営業利益

895 億円（前年同期比 +27.3%）

営業利益率 11.3%（前年同期 9.4%）

売上総利益は、価格下落や原材料価格高騰の影響をコストダウンや販売数量の増加などで吸収し、更にユーロでの円安効果もあり、3,988億円（前年同期比11.2%の増益）となりました。また、売上総利益率も前年同期の48.2%から50.2%へと上昇しました。

販売費及び一般管理費では、成長分野を中心に研究開発費の増加などがありましたが、売上高販管費比率は、ほぼ前年同期並みの38.9%となりました。

これらの結果、営業利益は895億円（前年同期比27.3%の増益）となり、また営業利益率も前年同期の9.4%から11.3%へと上昇しました。

経常利益

864 億円
（前年同期比 +23.8%）

四半期純利益

557 億円
（前年同期比 +38.9%）

過去の同四半期（9ヶ月通算）と比較すると、営業利益および経常利益は三期連続、四半期純利益は二期連続で最高益を更新しました。

成長分野への積極投資を継続

情報機器事業ではカラーMFP新製品の金型費用の増加、オプト事業ではTACフィルムおよびガラス製ハードディスク基板の新工場の建設や研究開発拠点の新設など成長分野における積極投資を進めた結果、設備投資額は、前年同期比6億円増の522億円となりました。また、減価償却費は、これまでに行ってきた生産能力増強に関わる償却負担増もあり、前年同期比70億円増の445億円となりました。

<参考>直近四半期（3ヶ月）の概況（平成19年10月1日～同年12月31日の3ヶ月）

情報機器事業およびオプト事業での販売好調が主な増収要因。

当四半期（3ヶ月）としては営業利益・経常利益・四半期純利益
いずれも過去最高益



財政状況



事業規模の拡大に伴い、たな卸資産や有形固定資産を中心に増加いたしました。
たな卸資産は前期末比238億円増加の1,573億円となりました。
また、有利子負債については引き続き削減に努めた結果、前期末比16億円減少の2,277億円となりました。



利益創出による利益剰余金が増加したことが要因です。

営業活動によるキャッシュ・フロー **738 億円** (前年同期比 +303 億円)

税金等調整前四半期純利益や減価償却費の増加、売上債権の減少などによりキャッシュ・フローは増加しましたが、たな卸資産の増加、仕入債務の減少、フォトイメージング事業の事業撤退損失引当金の取り崩しや法人税等の支払い等もあり、営業活動によるキャッシュ・フローは738億円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー △ **554 億円** (前年同期比 172 億円の支出増加)

新製品ののための金型投資、TACフィルム及びガラス製ハードディスク基板の新工場の建設等の生産能力増強に係わるもの、研究開発拠点の新設などに係わる有形固定資産の取得が主な支出増加の要因です。

フリー・キャッシュ・フロー **184 億円** (前年同期比 +130 億円)

財務活動によるキャッシュ・フロー △ **131 億円** (前年同期比 107 億円の支出増加)

主として、有利子負債の削減と配当金の支払いによるものです。

当四半期末の
現金及び現金同等物の残高 **936 億円** (前年比 +92 億円)

セグメント別営業概況

情報機器事業：MFP（デジタル複合機）、プリンタなど

カラーMFP新製品が牽引し、増収増益



MFP分野：

成長分野を重点強化するところの『ジャンルトップ戦略』を推進し、国内外市場において需要拡大が続いている一般オフィス向けカラーMFP及びプロダクションプリント向け高速MFPの販売拡大に注力しています。当四半期（9ヶ月通算）前半は高速レンジ、後半には中低速域に重点をおいた高い商品競争力を有する新製品を集中して投入し、一般オフィス向けカラーMFP「bizhub（ビズハブ）」シリーズの品揃えを一層強化し、同シリーズの販売は国内外で好調に推移しました。また、大企業の社内印刷部門やデジタル商業印刷などを対象顧客とするプロダクションプリント分野では、すでに発売し好評を得ている機種に加えて、高速カラーMFPの新製品の発売を昨年9月より開始しました。また、昨年10月には、東京（品川）に『コニカミノルタ デジタルイメージングスクエア』を開設し、国内外のお客様に対してソリューションやサービス、新しいビジネスモデルなどプロダクションプリントに関わる様々な情報を発信する体制の整備にも取り組みました。

プリンタ分野：

多量印刷が見込まれる一般オフィス向けの販売に注力し、中高速域の「magicolor（マジカラー）」シリーズのタンデムプリンタを揃えラインアップの充実を図りました。また、昨年夏には欧米市場においてプリンタ販売会社をMFP販売会社に再編統合するなど、一般オフィス向けの販売強化に向けて販売体制の整備にも積極的に取り組みました。

オプト事業：光学デバイス、電子材料など

全事業領域で販売伸長し、増収増益

売上高
1,340 億円 (前年同期比 +32.4%)



営業利益
241 億円 (前年同期比 +62.2%)



ディスプレイ部材分野：

昨年夏以降、主要顧客からの需要が急回復し、高機能品を中心としたTACフィルムの販売は好調に推移しました。特に、大型液晶テレビ向けの視野角拡大フィルムは、昨年から投入した新製品が評価され、国内外で採用メーカーが広がっております。また、昨年11月には第5製造ラインが竣工し、更に本年夏の稼働に向けて第6製造ラインの建設を進めるなど、生産能力の増強にも積極的に取り組みました。

メモリー分野：

主力製品である光ピックアップレンズは、DVD用記録系、BD及びHD DVDの次世代DVD向けなどハイエンド製品の販売は好調に推移し、収益拡大に貢献しました。ガラス製ハードディスク基板は、当四半期（9ヶ月通算）前半は調整局面にありましたが昨年夏以降は顧客からの需要が回復し、また垂直磁気方式へのシフトも追い風となり堅調に推移しました。

画像入出力コンポーネント分野：

カメラ付携帯電話向けのマイクロカメラモジュール/レンズユニットやデジタルカメラ向けのズームレンズの販売が大きく伸びました。

医療用・印刷用製品など

開業医向けCR*新製品やデジタル印刷機などの機器販売が伸長

* Computed Radiography : コンピュータによるX線画像処理

売上高
1,176 億円 (前年同期比 +5.0%)



営業利益
58 億円 (前年同期比 -17.4%)



医療・ヘルスケア分野：

診療所やクリニックなど小規模医療施設をターゲットに「小型で且つシンプルな操作環境の提供」の設計思想に沿って開発した新製品「REGIUS（レジウス） MODEL 110」および周辺システムの販売を昨年6月より開始し、国内外の市場における販売拡大に積極的に取り組みました。

印刷分野：

オンデマンド印刷システム「Pagemaster Pro（ページマスタープロ） 6500」の販売が国内外の市場において好調に推移しました。

その他

計測機器事業：色計測・三次元計測機器など

売上高

72 億円（前年同期比 +5.2%）

営業利益

9 億円（前年同期比 -9.0%）

分光測色計など物体色を中心とした色計測分野での販売が堅調に推移しました。また、昨年11月には液晶テレビやプラズマテレビなど各種ディスプレイ製品のコントラスト性能を高精度に測定する分光放射輝度計「CS-2000」、12月には様々な業界の色管理分野で活用できる分光測色計「CM-700d/600d」といった新製品の発売を開始するなど、商品競争力の強化にも努めました。

産業用インクジェット事業：

プリンタヘッド及びインク、テキスタイルプリンタなど

売上高

50 億円（前年同期比 +15.7%）

営業利益

6 億円（前年同期比 -28.5%）

国内向けにはプリンタヘッドの累計納入台数の着実な増加に伴ってインク販売が好調に推移し、また海外向けには高度経済成長が続く中国市場や欧米市場において有力プリンタメーカーから新規受注に成功したことで着実に売上を伸ばしましたが、試験研究費など経費の増加があり前年同期比では減益となりました。

連結財務諸表（要約）

貸借対照表

（単位：百万円、未満切捨）

| 勘定科目 | 平成20年3月期 第3四半期 (H19.12.31) | 平成19年3月期 第3四半期 (H18.12.31) | 増減 | 平成19年3月期 (H19.3.31) |
|------------|----------------------------------|----------------------------------|---------|------------------------|
| 現金及び預金 | 93,430 | 84,370 | 9,059 | 85,677 |
| 受取手形及び売掛金 | 238,270 | 243,912 | △5,642 | 257,380 |
| たな卸資産 | 157,397 | 147,447 | 9,949 | 133,550 |
| その他 | 75,161 | 66,478 | 8,682 | 67,628 |
| 流動資産合計 | 564,259 | 542,209 | 22,050 | 544,237 |
| 有形固定資産 | 244,070 | 235,585 | 8,484 | 230,094 |
| 無形固定資産 | 98,042 | 98,278 | △235 | 97,971 |
| 投資その他の資産 | 78,800 | 74,890 | 3,909 | 78,748 |
| 固定資産合計 | 420,913 | 408,755 | 12,158 | 406,814 |
| 資産合計 | 985,172 | 950,964 | 34,208 | 951,052 |
| 支払手形及び買掛金 | 114,005 | 126,130 | △12,124 | 121,707 |
| 有利子負債 | 227,703 | 240,057 | △12,353 | 229,364 |
| その他 | 227,182 | 248,681 | △21,498 | 231,355 |
| 負債合計 | 568,892 | 614,868 | △45,975 | 582,427 |
| 資本金 | 37,519 | 37,519 | — | 37,519 |
| 資本剰余金 | 204,140 | 204,142 | △1 | 204,143 |
| 利益剰余金 | 162,100 | 82,667 | 79,433 | 115,704 |
| 自己株式 | △1,320 | △1,067 | △253 | △1,097 |
| 株主資本合計 | 402,439 | 323,261 | 79,178 | 356,269 |
| 評価・換算差額等合計 | 12,290 | 11,544 | 746 | 11,198 |
| 新株予約権 | 235 | 61 | 173 | 108 |

| | | | | |
|-----------|---------|---------|--------|---------|
| 少数株主持分 | 1,314 | 1,228 | 86 | 1,048 |
| 純資産合計 | 416,280 | 336,095 | 80,184 | 368,624 |
| 負債及び純資産合計 | 985,172 | 950,964 | 34,208 | 951,052 |

連結財務諸表（要約）

損益計算書

（単位：百万円、未満切捨）

| | 平成20年3月期 第3四半期 H19.4.1～H19.12.31 | | 平成19年3月期 第3四半期 H18.4.1～H18.12.31 | | 増減 | | 平成19年3月期 H18.4.1～H19.3.31 | |
|--------------------------|--|------------|--|------------|--------|------------|------------------------------|------------|
| | 金額 | 百分比 (%) | 金額 | 百分比 (%) | 金額 | 増減率 (%) | 金額 | 百分比 (%) |
| 売上高 | 794,964 | 100.0 | 744,596 | 100.0 | 50,367 | 6.8 | 1,027,630 | 100.0 |
| 売上原価 | 396,101 | 49.8 | 386,016 | 51.8 | 10,085 | 2.6 | 532,714 | 51.8 |
| 売上総利益 | 398,862 | 50.2 | 358,580 | 48.2 | 40,282 | 11.2 | 494,916 | 48.2 |
| 販売費及び 一般管理費 | 309,284 | 38.9 | 288,234 | 38.8 | 21,050 | 7.3 | 390,909 | 38.1 |
| 営業利益 | 89,577 | 11.3 | 70,345 | 9.4 | 19,231 | 27.3 | 104,006 | 10.1 |
| 営業外収益 | 8,024 | 1.0 | 13,003 | 1.8 | △4,978 | △38.3 | 14,653 | 1.4 |
| 営業外費用 | 11,172 | 1.4 | 13,544 | 1.8 | △2,372 | △17.5 | 20,559 | 2.0 |
| 経常利益 | 86,430 | 10.9 | 69,804 | 9.4 | 16,625 | 23.8 | 98,099 | 9.5 |
| 特別利益 | 1,524 | 0.2 | 10,170 | 1.4 | △8,646 | △85.0 | 11,848 | 1.2 |
| 特別損失 | 2,705 | 0.4 | 1,654 | 0.3 | 1,050 | 63.5 | 5,058 | 0.5 |
| 税金等調整前 四半期(当期)純利 益 | 85,249 | 10.7 | 78,320 | 10.5 | 6,928 | 8.8 | 104,890 | 10.2 |
| 税金費用 | 29,437 | 3.7 | 38,073 | 5.1 | △8,636 | △22.7 | 32,135 | 3.1 |
| 少数株主利益 | 99 | 0.0 | 124 | 0.0 | △24 | △19.5 | 213 | 0.0 |
| 四半期(当期)純利 益 | 55,712 | 7.0 | 40,123 | 5.4 | 15,589 | 38.9 | 72,542 | 7.1 |

連結財務諸表（要約）

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円、未満切捨）

| | 平成20年3月期 第3四半期 H19.4.1～H19.12.31 | 平成19年3月期 第3四半期 H18.4.1～H18.12.31 | 平成19年3月期 H18.4.1～H19.3.31 |
|-------------------------------|--|--|------------------------------|
| I. 営業活動によるキャッシュ・フロー | 73,893 | 43,555 | 66,712 |
| II. 投資活動によるキャッシュ・フロー | △55,481 | △38,195 | △56,401 |
| I+II. フリー・キャッシュ・フロー | 18,411 | 5,359 | 10,311 |
| III. 財務活動によるキャッシュ・フロー | △13,103 | △2,321 | △5,170 |
| IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,659 | 211 | 322 |
| V. 現金及び現金同等物の増減額 （減少:△） | 6,967 | 3,250 | 5,463 |
| VI. 現金及び現金同等物の期首残高 | 86,587 | 80,878 | 80,878 |
| VII. 新規連結による 現金及び現金同等物の増加額 | 100 | 241 | 245 |
| VIII. 現金及び現金同等物の 期末残高 | 93,654 | 84,370 | 86,587 |

トピックス

経営関係



欧州のデジタル印刷大手企業「Oce(オセ)」との開発・販売分野での提携に基本合意

▶ [プレスリリース](#)



神戸市に液晶偏光板用保護フィルムの第5工場を竣工

▶ [プレスリリース](#)

▶ [製品紹介](#)

事業関係



高速・高画質A3ワイド対応カラーレーザプリンタ「magicolor8650DN」を発売

▶ [プレスリリース](#)

▶ [製品紹介](#)



世界最高水準の低輝度測定が可能な「分光放射輝度計 CS-2000」を発売

▶ [プレスリリース](#)

▶ [製品紹介](#)

CSR関係



デジタルカラー複合機「bizhub C650/C550」が省エネ大賞を受賞

▶ [プレスリリース](#)

▶ [製品紹介](#)

その他



全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤー駅伝）にて通算6度目の優勝

▶ [大会結果詳細](#)

▶ [陸上競技部](#)



「有機ELであかりが変わる」スペシャルサイトを公開

▶ [研究開発](#)

▶ [プレスリリース](#)